

ステークホルダー・エンゲージメント

Why? なぜ重要か

企業の事業活動は、その企業の利害関係者(ステークホルダー)や社会・環境に直接的・間接的な影響を及ぼします。企業が持続可能な成長を続けていくためには、独断で事業を進めるのではなく、対話を通じてステークホルダーの懸念や期待を把握し、互いの関係性が好循環となるように企業経営の決定をしていく必要があります。こうしたプロセスを「ステークホルダー・エンゲージメント」と呼び、企業の社会的責任を果たすうえでの中心的な取り組みです。

DAIKIN'S APPROACH

ダイキンは、ステークホルダーとの対話や協働を、自社の持続的成長に欠かせないものと考え、お客様をはじめ、株主・投資家の皆様・取引先様・従業員、地域社会の皆様との対話の機会を大切に、企業経営に生かしています。また、自社の成長と社会の持続性の両立をめざし、空調技術の普及や製品・サービスの環境性能向上に関して、各国政府・自治体や国際機関、有識者などと積極的な対話・協働を行っています。

有識者や株主・投資家との対話

ステークホルダーとの対話を通じ環境経営の方向性を検討

ダイキンは、空調にかかわる有識者と「将来の空調のあり方」について意見交換する場として、1995年から国内で空調懇話会を開催しています。当社の急速なグローバル化に合わせて2007年度以降、欧州、中国、米国、アジア・オセアニア、中南米地域にもその輪を広げ、各地域を代表する有識者と環境やエネルギー問題について意見交換を行い、技術や商品開発、事業展開に生かしています。2018年度は、世界5地域で計6回開催しました。

グローバル研修所であるダイキンアレス青谷(鳥取県)にて開催した北米懇話会には、特別ゲストとして在阪米国総領事をお招きしました。ダイキンの省エネ技術や環境戦略を紹介し、IoT・AI技術の可能性について活発な議論を行いました。



北米懇話会の様子

サステナビリティ説明会を実施

ダイキンは、株主や投資家の方々と積極的に意見交換を行い、経営に生かしています。2018年度には昨年に続き、当社のサステナビリティについて説明し

ご意見を伺う、サステナビリティ説明会を実施しました。2018年に策定した「環境ビジョン2050」をはじめとした当社事業とかかわりの強い環境への取り組みや、当社独自の人材育成の考え方や取り組みについて説明し、意見交換を行いました。

ステークホルダー・エンゲージメントの取り組み

ステークホルダー	主な対話の方法・機会	主な対話窓口
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常の営業活動 ● コンタクトセンター ● ショールーム ● 修理時訪問時の対話 ● 代理店感謝会・商品説明会 	営業部門 サービス部門
株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> ● 株主総会 ● 投資家向け説明会 ● アニュアルレポート・事業報告書 ● 投資家向けWEBサイト 	総務部門 コーポレート コミュニケーション 部門
調達取引先	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常の調達活動 ● 取引先説明会 ● サプライヤ品質会議 ● 品質改善報告会 ● 品質監査 	調達部門
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己記録表にもとづく面談 ● 経営協議会・労働協議会 ● グループ経営会議 ● グローバルマネージャーミーティング 	人事部門 経営企画部門
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災訓練時などの地域への説明 ● 工場見学会 ● 地域団体・イベントへの参加 ● 環境教育の実施 	グループ会社 事業場 CSR部門
NPO・NGO	<ul style="list-style-type: none"> ● NPO・NGOとの対話 	CSR部門
政府・自治体 業界・学界	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国政府担当者との対話 ● 国連担当者との対話 ● 業界活動への参画 ● 産学連携による研究 ● 空調懇話会 	グループ会社 事業場 渉外部門 CSR部門 研究部門